

～こども保険の保有契約件数と連動した寄付を通じ、少子化対策を支援～  
**「Hello! Baby 奨学金プログラム」寄付金の贈呈について**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2014年4月30日、「Hello! Baby 奨学金プログラム」の寄付金408万円を公益社団法人日本助産師会へ贈呈しました。本プログラムは本年で第5回となり、寄付金額は2010年の第1回から合計し、2,228万円となりました。

本プログラムは、公益社団法人日本助産師会の「助産師をめざす人のための奨学金制度」を支援する目的として実施しており、こども保険の保有契約件数に応じて、当社経費のなかから毎年寄付を行なうものです。

当社は、今後とも、本プログラムを通じて、ひとりでも多くの助産師が誕生し、妊婦の方がどこにいても、より安心して安全な出産ができる環境づくりに貢献したいと考えています。

なお、本活動は「子どもの健全育成」に向けた社会貢献活動「子どもの明日 応援プロジェクト」の一環として実施しています。

### 1. 寄付先

公益社団法人日本助産師会\*



### 2. 寄付の目的

産婦人科医・産科医が年々減少しているなか、助産師の絶対数の不足も課題となっています。助産師は、妊婦の不安や恐怖感を和らげ、安心して分娩できるように、保健指導や分娩時の介助、育児相談など、大きな役割を果たしています。

当社は、公益社団法人日本助産師会が実施している、助産師をめざす人のための奨学金制度の趣旨に賛同し、奨学金支援という形で助産師不足の解消に貢献したいと考え、2010年度から本プログラムを行なっています。

### 3. 寄付金額

408万円（助産師学生12人分の奨学金に充当）

※こども保険の保有契約件数3万件につき、学生ひとり分の奨学金34万円を寄付  
 （2013年12月末のこども保険保有契約件数は371,906件）

\*公益社団法人日本助産師会について

母子保健推進のため、全国の助産師の連携を図り、助産師業務の水準を維持し、その改善・向上に努めることを目的に1955年に創立された団体です。

（ホームページ <http://www.midwife.or.jp/>）

2014年4月30日 寄付金贈呈式の様子



公益社団法人日本助産師会 岡本会長（左）への目録贈呈

以上

この春に、「助産師」の道をスタートされた方からいただいたメッセージをご紹介します。

今回、奨学金支給の機会を頂けたことを心より感謝しております。

私は母子家庭で4歳年上の姉、2歳下の妹、母の4人で暮らしておりました。私立大学に通う私の学費に加え、妹も私立大学に通っており、学費だけでも母に大きな負担をかけてしまっていました。そのような中でも助産師を目指すことを母は応援してくれました。

しかし助産師の資格取得のためには、教材費に始まり、分娩介助実習など費用負担が思っていたよりも大きく、悩んだこともありました。ですが、明治安田生命様の奨学金を頂くことができたことにより、大変充実した時間を過ごすことができ、より集中して学業に専念することができました。このような素晴らしい制度により、私は助産師になることができたのだと思っております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そしてその思いと同時に、これからは助産師として常に向上心を持ち、妊産婦、新生児そしてその家族に安心・安全をあたえることができるよう努力していきたいという強い思いでいっぱいです。

常に今の自分に満足することなく、学びの姿勢を持ち続けることのできる助産師になりたいと思います。

そしてこの奨学金制度を受け、助産師を目指すことのできる方が1人でも増えることを心より願っております。本当に有難うございました。

柴谷 智子

この度は奨学金支給の機会を頂きまして本当に有難うございました。

私は助産師になりたいと、自身の出産を機に志しました。准看護学校から始まり、学業・仕事・育児・家事の両立は難しく、家族をはじめ多くの人の支えによりここまでくることができました。奨学金を学費に使用させて頂き、更に多くの方々の応援を頂いたような気持ちになり、勉学・実習に臨む事ができました。奨学金制度があることは、金銭的な支えとなるだけでなく、多くの先輩方や助産師を応援して下さる方々が私を支えてくれているという心の励みにもなりました。このような制度を今後も多くの助産師を志す学生が受ける事ができますよう、支援を行って頂けると大変有難いです。

4月からは地元の診療所で勤務する予定です。皆様から支えて頂いたご恩を地域の周産期医療を支える一員として少しずつ返すことができますように、日々精進してまいりたいと思います。本当に有難うございました。

福島 奈智子

※柴谷様・福島様のご了承を得て全文を掲載しております